

第16回 ジュニアかなざわ オンライン検定 回答と解説（中学生版）

問題1

金沢を上空から見ると、犀川（さいがわ）と浅野川（あさのがわ）の間に小立野（こだつの）台地がある。小立野台地の先端（せんたん）に（ ）城跡（じょうあと）があり、金沢の中心となっている。（ ）の中に入るのはどれか。

- 1 小立野
- 2 卯辰
- 3 高尾
- 4 金沢



解説

藩政（はんせい）時代、前田氏の居城であった。明治以降、軍隊、大学が利用していた。現在は金沢城公園となっている。

問題2

金沢にはたくさんの方言がある。その中で「道がこおったようす」をあらわす方言はどれか。

- 1 かんかんなまなま
- 2 きんきんなまなま
- 3 きんかんなまなま
- 4 こんこんぬまぬま

解説

金柑（きんかん）の皮は新鮮（しんせん）であればあるほど表面がつるつるしていることに由来している。

問題3

金沢が生んだ文豪（ぶんごう）、「幼年（ようねん）時代」「性に眼覚める頃（ころ）」などの小説や「犀川（さいがわ）」という詩などを発表した人物は誰（だれ）か。

- 1 徳田 秋声（とくだ しゅうせい）
- 2 泉 鏡花（いずみ きょうか）
- 3 夏目 漱石（なつめ そうせき）
- 4 室生 犀星（むろお さいせい）



解説

室生犀星は仕事場の上司から俳句を教えてもらったことがきっかけで、文学書をよく読むようになった。さらに、新聞に投稿（とうこう）した詩が雑誌に掲載（けいさい）されたことで、文学に対する熱意が高まった。

問題4

加賀藩（はん）2代藩主前田利長（まえだとしなが）や3代藩主前田利常（まえだとしつね）は金沢城を守るために、内堀（うちぼり）、外堀（そとぼり）を造らせ、堀の内側には土を高く盛り上げた土居（どい）を築かせた。これらは何と呼ばれているか。

- 1 腰曲輪（こしぐるわ）
- 2 馬出（うまだし）
- 3 惣構（そうがまえ）
- 4 逆茂木（さかもぎ）



解説

内堀は内惣構、外堀は外惣構と呼ばれ、惣構肝煎（そうがまえきもいり）や惣構橋番などの町役人によって管理された。堀の中へゴミを捨てたり、土居をこわしたりすることなども、取りしまりの対象となった。

問題5

上田作之丞（うえださくのじょう）の私塾扱遊館（きょゆうかん）で実学（じつがく）を学んだ中下級武士たちは、長連弘（ちょうつらひろ）により多数登用され、加賀藩の財政の立て直しにつとめた。こうした武士たちは人々から何と呼ばれていたか。

- 1 黒羽織党（くろばおりとう）
- 2 赤母衣衆（あかほろしゅう）
- 3 三光寺派（さんこうじは）
- 4 八家（はっか）

解説

扱遊館では学んだ学問をもとに実際の政治や経済について議論が行われ、藩のことを真剣（しんけん）に考える優れた中下級武士が大勢集まった。彼らは会合の時にそろって黒羽織を着たため、人々から黒羽織党と呼ばれるようになった。

問題6

水の豊富な金沢は、「用水のまち」としても有名である。市内には何本の用水が流れているか。

- 1 30本
- 2 45本
- 3 55本
- 4 70本



解説

55本の用水の総延長は150キロになる。農業灌漑（かんがい）、消火や融雪（ゆうせつ）などのほかに城下町の景観をひき立てている。

問題7

八田與一（はったよいち）は当時アジア最大といわれた烏山頭（うさんとう）ダムや長大な水路を完成させるなど、不毛の大地を豊かな平野に変えたことで知られている。八田與一が活躍（かつやく）した場所はどこか。

- 1 朝鮮（ちょうせん）
- 2 中国
- 3 台湾（たいわん）
- 4 タイ

解説

金沢市出身の八田與一は台湾にわたり、烏山頭ダムを完成させた。その業績はアニメ映画「パッテンライ」で紹介されている。

問題8

金沢の気候は、梅雨（つゆ）の季節や台風（たいふう）の頃（ころ）、そして特に冬は降水量が多くなる。このような気候を何というか。

- 1 北日本型気候
- 2 日本海側気候
- 3 西日本側気候
- 4 北日本海気候

解説

日本海岸式気候ともいわれる。

問題 9

金沢市内の南部に豊かな自然にめぐまれた山がある。その山には加賀藩（かがはん）初代藩主（はんしゅ）前田利家（まえだとしいえ）とその正室（せいしつ・妻のこと）芳春院（ほうしゅんいん）、その他の歴代藩主や前田家一族の墓や、金沢を代表する多くの著名人の墓があるが、その山を何というか。

- 1 野田山（のだやま）
- 2 大乘寺山（だいじょうじやま）
- 3 卯辰山（うたつやま）
- 4 三子牛山（みつこうじやま）



解説

墓地としては、天正年間に利家の兄の利久（としひさ）をほうむったのが始まりで、利家も遺言で墓を作った。

問題 10

金沢の町は、町奉行（まちぶぎょう）が支配していた。武士には武士の役人がいた。町人には町年寄（まちどしより）・散算用聞（ちりさんようきき）・町肝煎（まちきもいり）など町人の役人が仕事をしていた場所はどれか。

- 1 町役場
- 2 公役所
- 3 町会所
- 4 公会堂

解説

町会所は町人の生活すべてにかかわっていた。場所は下松原町。

問題 11

加賀藩（はん）では、収入の少ない下級武士のくらは決して楽ではなく、内職をして生計を立てる者が多くいた。このような下級武士の日常生活について学ぶことができる、長町にある旧清水家屋敷（やしき）を何というか。

- 1 前田土佐守家資料館（まえだとさのかみけしりょうかん）
- 2 金沢文芸館（かなざわぶんげいかん）
- 3 金沢蓄音機館（かなざわちくおんきかん）
- 4 足軽資料館（あしがるしりょうかん）



解説

屋敷の敷地は50坪（つぼ）ほどで、裏手の庭は観賞（かんしょう）用というよりも、野菜作りや果樹など自給自足のための場所になっていた。

問題 12

1488年（長享（ちょうきょう）2）、農民や僧（そう）たちが中心になって一向一揆（いっこういっき）をおこし、高尾（たこう）城を攻撃（こうげき）して守護富樫政親（とがしまさちか）を倒した。これ以降、加賀の国は何とよばれるようになったか。

- 1 坊主（ぼうず）の持ちたる国
- 2 職人の持ちたる国
- 3 商人の持ちたる国
- 4 百姓（ひやくしょう）の持ちたる国

解説

一向一揆の後、守護は力を失い、一向宗の坊主・土豪（どごう）などが加賀国を治めるようになった。やがて、門徒（もんとう）や一揆の中で仲間割れがおこると、本願寺が直接加賀を治めるようになった。

問題 13

金沢には、金沢をホームタウンとしたスポーツチームに「Honey Bee (ハニー・ビー)」という団体がある。スポーツ種目名はどれか。

- 1 ハンドボール
- 2 バレーボール
- 3 バトミントン
- 4 バスケットボール



解説

Honey Bee は北國銀行のハンドボールチームで、数々の大会で日本1位となっている。チーム名の由来は「働き蜂 (ばち) のように小さいのによく動く」ことからついた。

問題 14

金沢出身で、仏教を説明する本を出版したり講演したりして、仏教を外国に伝えた哲学者 (てつがくしゃ) は誰 (だれ) か。

- 1 木村 栄 (きむら ひさし)
- 2 高峰 讓吉 (たかみね じょうきち)
- 3 鈴木 大拙 (すずき だいせつ)
- 4 野口 遵 (のぐち したがう)

解説

2011年(平成23)その考えや足跡(そくせき)を国内外に発信し、理解を深め思索探求(しさくたんきゅう)の場として建物が建設された。記念館ではなく、「鈴木大拙館」としている。

問題 15

加賀藩（はん）では、3代藩主前田利常が、それまでの家来が管理していた農政を改め、藩が直接農村を管理する方法をとった。藩の農政の安定につながったの方法はどれか。

- 1 改作法
- 2 農政法
- 3 改農法
- 4 農改法

解説

改作法は加賀藩の形を大きく変えた。武士は金沢に集住し、十村制（とむらせい）を採ることにより、農民による農民管理を完成した。他藩は真似できなかつた。

問題 16

金沢市の市章は1891年（明治24）に市議会で決められた。そのデザインは、ある花の形を線で描き、その中に金沢を意味する「金」の文字を書き入れたものである。ある花とは何の花か。

- 1 桜
- 2 梅
- 3 松
- 4 桃



解説

梅の形は前田家の梅鉢（うめばち）の紋章（もんしょう）からとったもので、消防のまといや下水道のふたにもアレンジされたものが使用されている。

問題 17

金沢市は、スポーツで人と街を元気にすることを目指しているが、スポーツを行うだけでなく、「観る、応援（おうえん）する、語り合う」ことが日常生活にとけこみ、金沢の風土として受けつがれていくように、2018年（平成30）に金沢市が制定した条例は何か。

- 1 金沢市体育施設（しせつ）条例
- 2 金沢市スポーツ広場条例
- 3 金沢市スポーツ基本（きほん）条例
- 4 金沢市スポーツ文化推進（すいしん）条例



解説

2015年（平成27）にはシティフルマラソンである「金沢マラソン」が開催（かいさい）されるようになり、金沢の魅力発信（みりょくはっしん）や経済（けいざい）の活性化（かつせいか）、市民の健康増進（けんこうぞうしん）を目的としている。

問題 18

北陸地方における最初の鉄道開業は、1882年（明治15）滋賀県の長浜（ながはま）市と福井県の敦賀（つるが）市の間である。金沢まで開業したのは何年か。

- 1 1892年（明治25）
- 2 1895年（明治28）
- 3 1898年（明治31）
- 4 1900年（明治33）

解説

小松から金沢まで開通したのが、1898年（明治31）4月1日であった。

問題 19

江戸時代の北陸地方における農業の書物「耕稼春秋」(こうかしゅんじゅう)には農家の月ごとにする仕事や作るべき作物、肥料や農具のことが書かれているが、この書物を書いたのは誰(だれ)か。

- 1 宮崎 安貞 (みやざき やすさだ)
- 2 土屋 又三郎 (つちや またさぶろう)
- 3 後藤 太兵衛 (ごとう たへえ)
- 4 枝 権兵衛 (えだ ごんべえ)

解説

1は『農業全書』の著者、3は長坂用水の開削(かいさく)に関係、4は七ヶ用水の開削に関係する。土屋又三郎は、現在は金沢市になっている旧御供田(ごくでん)村の十村役(とむらやく)であった。

問題 20

江戸時代、日本海から下関をまわり大坂に行く船は北前船(きたまえぶね)と呼ばれ、危険をともしないながら莫大(ばくだい)な利益をあげた。これにより一代で巨万(きょまん)の富を築き、「海の百万石」としよされた宮腰(みやのこし)の豪商(ごうしょう)は誰(だれ)か。

- 1 茶屋 四郎次郎 (ちやや しろうじろう)
- 2 大野 弁吉 (おおの べんきち)
- 3 銭屋 五兵衛 (ぜにや ごへえ)
- 4 紀伊國屋 文左衛門 (きのくにや ぶんざえもん)

解説

宮腰は現在(げんざい)の金石である。銭屋五兵衛は全国に34か所の支店や出張所をもち、外国との密貿易も行っていたとされている。2019年(令和元)に文化庁認定の日本遺産「荒波(あらなみ)をこえた男たちの夢がつむいだ異空間～北前船寄港地(きこうち)・船主集落(せんしゅしゅうらく)～」に金沢市が追加認定されている。

問題 21

金沢は伝統工芸が盛んである。そのうち金箔（きんぱく）は全国にその名がとどろいている。金沢の金箔の生産は全国で何位か。

- 1 1位
- 2 2位
- 3 3位
- 4 4位



解説

金箔をつくるには上質の和紙が必要で、清らかな水が豊富な金沢は、その和紙をつくる上でも良い条件がそろっていたとされている。

問題 22

1874年（明治7）、「金沢製糸場（せいしじょう）」が長町の川岸につくられた。当時としては国がつくった富岡製糸場に次いで全国第2位の大きさの工場で、鞍月（くらつき）用水から水を引き、大きな水車を使って機械を動かしていた。この「金沢製糸場」をつくった人物は誰（だれ）か。

- 1 稲垣 義方（いながき よしかた）
- 2 森下 八左衛門（もりした はちざえもん）
- 3 長谷川 準也（はせがわ じゅんや）
- 4 津田 米次郎（つだ よねじろう）

解説

長谷川準也はこのほかに撚糸（ねんし）会社や銅器（どうき）会社などをおこし、金沢の近代工業が発展していくさきがけとなった。また、第2代の金沢市長となった。

問題 23

1858年(安政5)、凶作(きょうさく)で米の値上がりに苦しむ人々が藩(はん)の米を出してくれるよう、卯辰山(うたつやま)から金沢城の殿様(とのさま)にさげんで救済をうったえた。この一揆(いっき)を何というか。

- 1 世直し一揆(よなおしいっき)
- 2 徳政一揆(とくせい いっき)
- 3 百姓一揆
- 4 泣き一揆



解説

泣き一揆の結果、藩からお救い米が出されたが、当時は直訴(じきそ)が禁止されていたため、主だった7人はとらえられ処刑(しょけい)された。亡くなった7人のために「七稻地藏(なないねじぞう)」がつくられ、今も寿経寺(じゅきょうじ)にまつられている。

問題 24

金沢には、今に伝わる年中行事が多く残っているが、6月(旧5月)にある無病息災(むびょうそくさい)を願う行事はどれか。

- 1 人形供養(にんぎょうくよう)
- 2 針供養
- 3 しょうぶ湯
- 4 地藏盆(じぞうぼん)

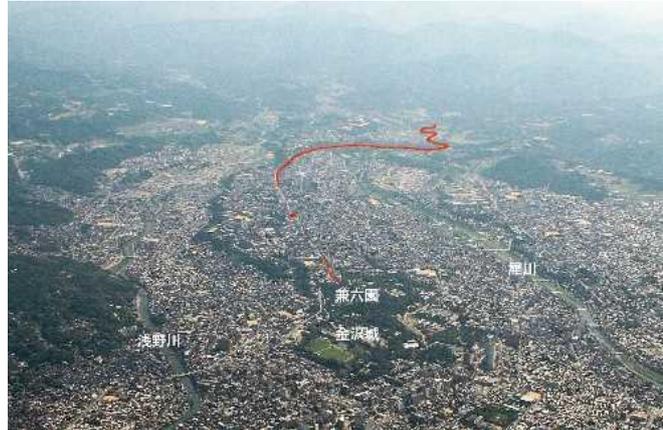
解説

菖蒲(しょうぶ)は古くからさわやかな香りが邪気(じゃき)をはらい心身を清めるとして、軒(のき)に飾ったり、枕(まくら)の下にしいてねたりと、無病息災を願うために使われた。

問題 25

3代藩（はん）主前田利常（まえだとしつね）の時、板屋兵四郎（いたやへいしろう）に命じて辰巳（たつみ）用水を造らせた。その用水の取り入れ口は、犀川（さいがわ）上流のどこの村に作ったか。

- 1 銚子（ちょうし）村
- 2 末村
- 3 上辰巳（かみたつみ）村
- 4 駒帰（こまがえり）村



解説

犀川上流上辰巳村の東岩付近に取り入れ口を造り、岩をくりぬいてトンネルを掘り、用水を通した。

問題 26

豊臣秀吉（とよとみひでよし）にキリシタンとして追放され、領地を没収（ぼっしゅう）されたが、加賀藩（はん）初代藩主前田利家（まえだとしいえ）にむかえられ、金沢で熱心な布教を行い、多くの信者を得たのは誰（だれ）か。

- 1 高山 右近（たかやま うこん）
- 2 有馬 晴信（ありま はるのぶ）
- 3 大友 義鎮（おおとも よししげ）
- 4 大村 純忠（おおむら すみただ）



解説

金沢には何百人ものキリシタンがいて、南蛮（なんばん）寺が建てられ、ナタル（クリスマス）も行われていた。高山右近は城づくりにもすぐれ、金沢城のお堀（ほり）や利長が住んだ高岡城を造るときなどに活躍（かつやく）した。

問題 27

金沢の地域福祉（ふくし）活動の原点であり、現在でもいろいろな生活相談や授産・託児（たくじ）などの援助（えんじょ）、さらには図書館や教育的活動などの地域の福祉・社会教育の拠点（きょてん）となった、1934年（昭和9）から1960年（昭和35）にかけて市内19か所に誕生したものは何か。

- 1 公民館
- 2 善隣（ぜんりん）館
- 3 友宜（ゆうぎ）館
- 4 福祉館

解説

現在も11館が活動を続けている。

問題 28

江戸時代末期、卯辰山（うたつやま）の開発が進み、「養生所（ようじょうしょ）」、「撫育所（ぶいくしょ）」、「神社」などが建てられた。また、織物・製糸・製陶（せいとう）・工芸などの工場も建てられ、ふもとは多くの人たちでにぎわった。こうした事業を行った加賀藩（はん）14代藩主は誰（だれ）か。

- 1 前田 慶寧（まえだ よしやす）
- 2 前田 重教（まえだ しげみち）
- 3 前田 吉徳（まえだ よしのり）
- 4 前田 斉泰（まえだ なりやす）



解説

前田慶寧は福沢諭吉（ふくざわゆきち）の『西洋事情（せいようじじょう）』を読んで、ヨーロッパでは貧しい人々を救う制度や施設（しせつ）が整っていることを知り、加賀藩の人々が豊かに生活できるようにさまざまな事業を行った。このことから、他の藩から政治のお手本であると言われた。

問題 29

「緑」は都市の機能を高める効果がある。1974年（昭和49）、金沢市議会が議決した宣言はどれか。

- 1 「緑の都市宣言」
- 2 「環境都市宣言」
- 3 「うるおい都市宣言」
- 4 「森林都市宣言」

解説

「緑の都市宣言」の冒頭（ぼうとう）で、「緑は、すべての生命の根源であり、自然の健やかな脈拍（みやくはく）そのものである」とのべている。

問題 30

春、夏、秋、冬という季節の節目がはっきりしている金沢では、それぞれの季節に登場する和菓子（わがし）があり、生活の中にいろどりと美をそえている。うち、金沢のお正月に欠かせない、外の皮をむくと、中におみくじが入っている金沢独特の和菓子はどれか。

- 1 金花糖（きんかとう）
- 2 五色生菓子（ごしきなまがし）
- 3 氷室（ひむろ）まんじゅう
- 4 辻（つじ）うら



解説

中に入っているおみくじは食べられないので気をつけよう。

問題 31

加賀藩（はん）5代藩主の前田綱紀（まえだつなのり）は、細工人（さいくにん）の技術向上と工芸技術を保存し記録するために、全国から二千点以上の工芸品を収集し、整理・分類した。日本工芸における各種標本の集大成とされるこの標本集を何というか。

- 1 尊経閣文庫（そんけいかくぶんこ）
- 2 百工比照（ひゃくこうひしょう）
- 3 耕稼春秋（こうかしゅんじゅう）
- 4 百科全書（ひゃっかぜんしょ）

解説

百工比照は江戸時代中頃（なかごろ）までの最高レベルの工芸品と一流の職人の技を伝える貴重なものである。原料・材料や製作過程を学ぶこともでき、御細工所（おさいくしょ）の職人たちは、全国の技術にならって技をみがき伝統を築きあげた。

問題 32

金沢港は1954年（昭和29）に、大野港ともう一つの港が合併（がっぺい）してできた。もう一つの港はどれか。

- 1 河北（かほく）港
- 2 昭和（しょうわ）港
- 3 栗崎（あわがさき）港
- 4 金石（かないわ）港



解説

江戸（えど）時代、金石は宮腰（みやのこし）と呼ばれ、北前船が立ち寄る港町として大いに栄えた。

問題 33

金沢の地名は芋堀藤五郎（いもほりとうごろう）が砂金を洗った金洗沢（かなあらいのさわ）から起こったと伝えられている。一説には、この芋堀藤五郎ではないかともいわれ、名君として知られた加賀介（かがのすけ）（介は長官の次の位の人）は誰（だれ）か。

- 1 富樫 忠頼（とがしただより）
- 2 前田 利家（まえだとしいえ）
- 3 藤原 利仁（ふじわらのとしひと）
- 4 源 義仲（みなもとのよしなか）

解説

富樫氏は代々、加賀介として富樫郷（とがしごう）を支配していた。忠頼は4代目にあたり、12代目の泰家（やすいえ）は能の『安宅（あたか）』や歌舞伎（かぶき）の『勧進帳（かんじんちょう）』で知られる。富樫氏は1221年（承久（じょうきゅう）3）の承久の乱以降に勢力を拡大し、17代目の高家（たかいえ）以降、守護として加賀国を治めた。

問題 34

金沢市では、歴史ある旧町名や坂道などの由来をきざんだ標柱（ひょうちゅう）を市内224か所に建てた。その標柱を何というか。

- 1 まちの歴史
- 2 歴史のしるべ
- 3 まちのしるべ
- 4 歴史のまちしるべ



解説

1979年（昭和54）から2019年（令和元）までに224か所建てた。復活した旧町名の場合、旧の字がうめられている。

問題 35

金沢には、金沢市無形民俗（みんぞく）文化財に指定された伝統行事が今もたくさん残っている。斧（おの）や刀、弓を持った山伏（やまぶし）が各家をまわる金石町や大野町で行われている行事はどれか。

- 1 はしご登り
- 2 加賀万歳（かがまんざい）
- 3 さかたおどり
- 4 悪魔払い（あくまばらい）



解説

各家の悪魔払いをする時には、家の中に入らなばかりの勢いで悪魔を払うまねをするので、子供たちは泣きさけんで家の奥（おく）ににげこむ様子が見られる。

問題 36

1869年（明治2）に加賀藩（はん）は版籍奉還（はんせきほうかん）によって金沢藩になった。その後、1871年（明治4）の廃藩置県（はいはんちけん）で金沢県となり、何度か県境が変わる中で、美川（みかわ）に県庁が移された時から石川県となったが、なぜ石川県と呼ばれるようになったか。

- 1 初代県知事の名前が石川氏だったから
- 2 県庁のある美川が石川郡に所在したから
- 3 有名な石の産地やきれいな川が豊富にあるから
- 4 金沢城前の石川門が有名だったから

解説

明治の新政府に敵対していた藩や、新政府に従うかどうか態度をはっきりと示さなかった藩に対して山や川の名前、郡の名前を県名にあてる方針をとっていたため、加賀藩から金沢県となったあと、さらに県名を変える動きがあった。

問題 37

珠姫（たまひめ）は幕府2代将軍徳川秀忠（とくがわひでただ）の二女で、徳川、前田両家を結ぶため加賀藩3代藩主前田利常（まえだとしつね）にとついだが、24歳の若さで亡くなった。珠姫の霊（れい）をまつるために利常がつくった寺を何というか。

- 1 大乘寺（だいじょうじ）
- 2 天徳院（てんとくいん）
- 3 伏見寺（ふしみでら）
- 4 金沢御堂（かなざわみどう）



解説

天徳院には珠姫の位牌（いはい）があり、珠姫ゆかりの品々や江戸時代の仏像が残されている。また、珠姫の一生を演じるからくり人形による芝居（しばい）が見られることでも知られている。

問題 38

明治時代の初期、国会開設をめざす自由民権運動が全国に広がると、金沢でも明治維新（いしん）に取り残された士族たちによって政治結社（せいじけっしゃ）がつくられた。最初につくられた政治結社を何というか。

- 1 忠告社（ちゅうこくしゃ）
- 2 立志社（りっししゃ）
- 3 自助社（じじよしゃ）
- 4 愛国社（あいこくしゃ）

解説

忠告社は1875年（明治8）に杉村寛正（すぎむらひろまさ）、陸義猶（くがよしなお）、長谷川準也（はせがわじゅんや）らを中心に、中下級士族たちによって設立された政治結社である。一時は社員1200人をこえたが、しだいに失業士族の生活を救うための活動が中心となっていた。

問題 39

金沢市は、公共交通の補完(ほかん)を考えて、市民の気軽な移動手段としてバスを導入した。此花(このはな)・菊川(きくがわ)・材木(ざいもく)・長町(ながまち)の4ルートがあるバスはどれか。

- 1 金沢循環(じゅんかん)バス
- 2 金沢まちバス
- 3 ふらっとバス
- 4 兼六園シャトルバス



解説

金沢のせまい道路の中でも、路線バスの回らない地域を回っており、市民の足として利用価値が高い。

問題 40

平安時代はじめの823年(弘仁14)、加賀国が誕生した。それはどの国から分かれて誕生したのか。

- 1 越中国(えっちゅうのくに)
- 2 越前国(えちぜんのくに)
- 3 越後国(えちごのくに)
- 4 能登国(のとのくに)

解説

越前国から江沼郡(えぬまぐん)・加賀郡(かがぐん)をさいて加賀国が誕生した。半年後に江沼郡の北半分を分けて能美郡(のみぐん)、加賀郡の南半分を分けて石川郡がたてられた。

問題 41

金沢では現在も能が盛んである。加賀藩（はん）5代藩主前田綱紀（まえだつなのり）が取り入れたことから金沢で盛んになった能の流派は何か。

- 1 金春流（こんばるりゅう）
- 2 和泉流（いずみりゅう）
- 3 観世流（かんぜりゅう）
- 4 宝生流（ほうしょうりゅう）



解説

加賀藩では代々の藩主たちが積極的に能楽や茶の湯を取り入れたが、特に前田綱紀は学問が好きで、有名な学者や貴重なものを国中から集めた。

問題 42

1697年（元禄10）頃（ころ）の金沢は、江戸、大坂、京都に次ぐ大都市だったといわれており、町のにぎわいが「金沢城下図屏風（かなざわじょうかずびょうぶ）」にえがかれている。「金沢城下図屏風」にえがかれている下の写真の場所はどこか。

- 1 金沢港大橋付近
- 2 浅野川大橋付近
- 3 犀川大橋付近
- 4 大豆田大橋付近



解説

橋の風景としては、東山-橋場町の浅野川大橋付近もえがかれている。

問題 43

金沢には、昔から伝わる年中行事が今も数多く残っている。新年の正月に関係が深いものはどれか。

- 1 消防の「出初式」(でぞめしき)
- 2 「氷室」の饅頭(まんじゅう)
- 3 墓参りの「切籠(きりこ)」
- 4 「七五三」の宮参り

解説

この出初式では、市内の消防団員が新年に出そろい、裸(はだか)放水とはしご登りを披露(ひろう)する。

問題 44

藩政(はんせい)時代、金沢の町人の住む地域は、その役割や負担によって()、地子町(じしまち)、寺社門前地(じしゃもんぜんち)などに格付けされ分かれていた。()には、道路や橋の管理や修理の仕事をになっており、比較的(ひかくてき)生活に余裕(よゆう)のある町人が住んでいた。()の中に入るのはどれか。

- 1 中町
- 2 上町
- 3 片町
- 4 本町

解説

金沢の多くは地子町で、藩主の土地を使わせてもらっていることから、土地の借り賃である地子銀(じしぎん)を納めなければならなかった。寺社門前地は、寺や神社の境内にできた町で、寺社奉行(じしゃぶぎょう)の支配となっていた。

問題 45

近年の発掘（はっくつ）調査の結果、縄文人は高度な技術をもち、おしゃれで感性豊かな自然人であったことが明らかになっている。日本ではじめての石の指輪が出土した金沢の遺跡（いせき）はどこか。

- 1 畝田（うねだ）遺跡
- 2 北塚（きたづか）遺跡
- 3 セツ塚（ななつづか）遺跡
- 4 チカモリ遺跡

解説

北塚遺跡は縄文時代中期の遺跡で、石の指輪のほか、ヒスイでできたペンダントなども出土している。

問題 46

茶道普及（ふきゅう）のために京都から職人を招いて作らせた金沢の代表的な焼き物がある。ろくろを使わず手びねりによって作られた、独特の味わいのある飴色（あめいろ）が特色の焼き物を何というか。

- 1 九谷焼（くたにやき）
- 2 大樋焼（おおひやき）
- 3 有田焼（ありたやき）
- 4 珠洲焼（すずやき）



解説

京都から招かれた楽焼（らくやき）の陶工（とうこう）である長左衛門は、大樋村（現在の金沢市大樋町）に楽焼に適した土を見つけ、茶道のための茶碗（ちゃわん）をつくった。

問題 47

加賀藩（はん）では、村方（農村）の村々に対して、村の収穫（しゅうかく）高とそれに見合う年貢（ねんぐ）などの割当（わりあて）を書いた書面をわたした。それには藩主の黒印がおされており、（ ）と呼ばれ、村の役人たちが大切に保管していた。（ ）の中に入るのはどれか。

- 1 村書付
- 2 村年貢（ねんぐ）書
- 3 村大切書
- 4 村御印（ごいん）

解説

村御印には藩主の黒印があるので、村一番の大切なものとして保管されていた。

問題 48

1689年（元禄2）、松尾芭蕉（まつおばしょう）は「奥の細道」の旅の途中（とちゅう）、金沢に立ちつた。その際、小杉一笑（こすぎいっしょう）の死をいたんでよんだ句はどれか。

- 1 塚も動け わが泣く声は 秋の風
- 2 むざんやな 甲（かぶと）の下の きりぎりす
- 3 あかあかと 日は難面（つれなく）も 秋の風
- 4 山中や 菊（きく）はたおらじ 湯のほひ

解説

金沢では芭蕉から俳句の教えを受けようと名のある俳人たちが彼の来るのを待っていた。

問題 49

金沢市民芸術村は、市民が自主的に企画（きかく）したコンサートや芸術の練習の場として開放されているが、もともとは何の施設（しせつ）があったか。

- 1 食品工場
- 2 紡績（ぼうせき）工場
- 3 バス整備場
- 4 中学校



解説

リノベーションされた建物は、通産省（現：経済産業省）のグッドデザイン大賞最優秀（ゆうしゅう）賞、金沢都市美文化賞などの数々の受賞歴がある。

問題 50

江戸（えど）時代、金沢の町を治めるために、加賀藩（はん）は町人は町人らしく身分をわきまえて行動することを求めた。火の用心やキリシタン禁制など町人が日常生活において守らなければならないことがらが書かれた法令はどれか。

- 1 町取締書
- 2 町方二日読
- 3 町人心得書
- 4 町読聞かせ書

解説

町方二日読は町人の生活すべてにかかわっていた。毎月二日に町役が読み聞かせたという。村方にも二日読みがあった。

第16回ジュニアかなざわオンライン検定解答（中学生版）

No.	解答	No.	解答
1	4	26	1
2	3	27	2
3	4	28	1
4	3	29	1
5	1	30	4
6	3	31	2
7	3	32	4
8	2	33	1
9	1	34	4
10	3	35	4
11	4	36	2
12	4	37	2
13	1	38	1
14	3	39	3
15	1	40	2
16	2	41	4
17	4	42	3
18	3	43	1
19	2	44	4
20	3	45	2
21	1	46	2
22	3	47	4
23	4	48	1
24	3	49	2
25	3	50	2

※当検定の写真、イラストなどを著作権者の許可なしに複写・複製・転載することは、法律で認められた場合を除き、かたくお断りします。

写真提供者一覧（敬称略・順不同）

金沢市観光協会、金沢市画像オープンデータ、株式会社北國フィナンシャルホールディングス、大樋美術館、金沢市文化財保護課、金沢市観光政策課、金沢市スポーツ振興課